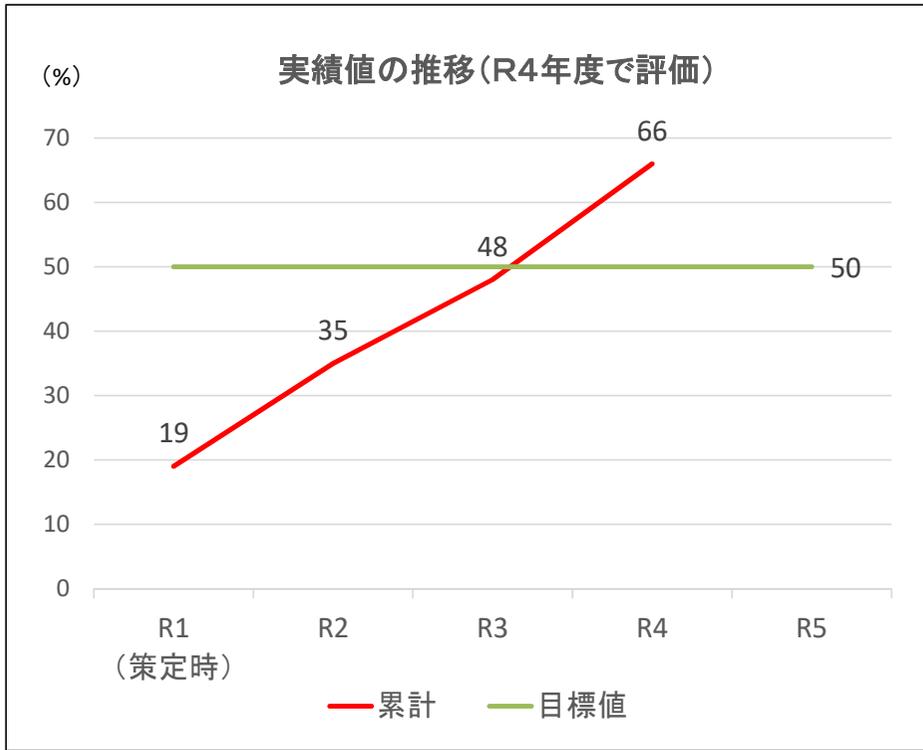


3 熊本地震からの創造的復興

No 30	都市計画課						目標値 (R5)
益城町市街地部の人口回復率		戦略策定時 実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	50
		累計	19 %	35	48	66	

※錯誤により実績値修正



取組状況

- ・「熊本地震からの創造的復興のシンボルとなるまちづくり」を県と町が一体となって取り組んでいる。
- ・県道熊本高森線4車線化事業は、R5年3月に、熊本市から益城町広崎までの約800m区間について、本事業初となる4車線での供用を開始し、復興後の姿が目に見える形となった。
- ・木山地区の区画整理事業は、R5年3月末までに、全体の約3割(145画地)で工事が完了したことから、権利者に宅地を引き渡し、生活再建が可能となっている。
- ・また、R4年5月に新たなにぎわい施設(複合施設)「BOX PARK マシキラリ」がオープン、R5年3月には町の新庁舎が落成するなど、徐々に新しい街並みが形成されている。

課題等

- ・4車線化事業は、道路沿線に店舗や事務所などの事業所が多く、道路拡幅によって移転を余儀なくされているため、特に権利者の生業(なりわい)の継続に配慮しながら、用地交渉を進めていく必要がある。
- ・区画整理事業は、全ての権利者の生活再建が可能となるように仮換地指定を早期に完了させる必要があるものの、R5年3月末時点で、全体の約1割(36名/308名)の地権者から、様々な御事情により、仮換地案に同意をいただけていない。

今後の方向性

- ・引き続き、権利者に寄り添いながら丁寧な説明を行い、各事業への協力を求めていく。
- ・4車線化事業はR7年度、区画整理事業はR9年度の事業完了に向け、引き続き、益城町と連携しながら、スピード感をもって事業を推進する。
- ・早期事業効果発現のため、4車線化事業は、R5年度末までに、熊本市側から惣領交差点付近までの供用を目指し、区画整理事業は、仮換地指定の完了及び宮園地区における宅地引渡しの概ね完了を目指す。

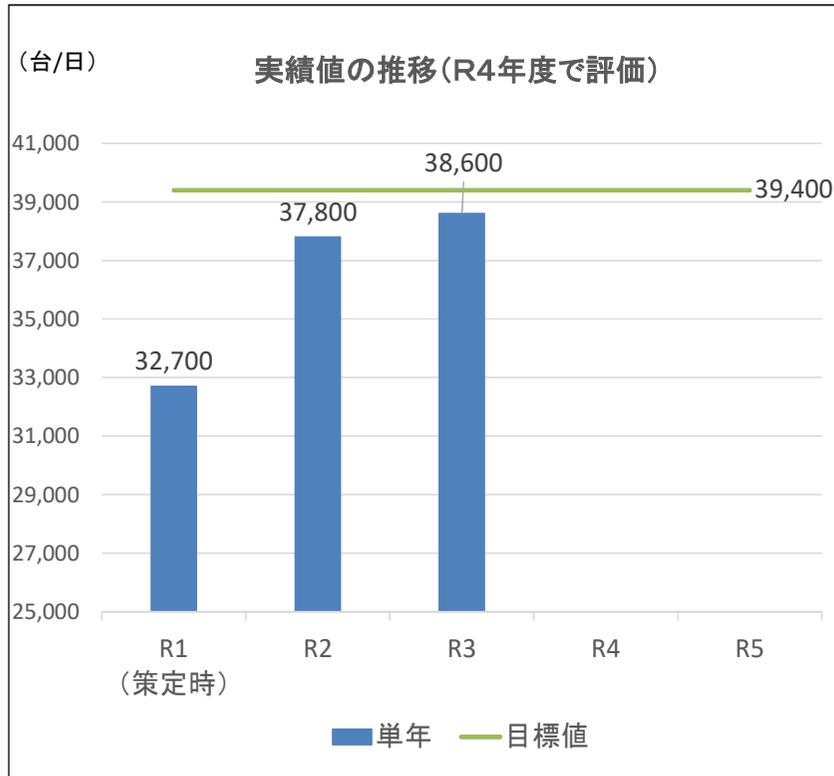
KPI分析シート

<別記様式2>

No	道路整備課・地域振興課・自然保護課・観光企画課
31	

熊本と阿蘇の交通量の回復状況

	戦略策定時 実績値 (R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	目標値 (R5)
単年	32,700 台/日	37,800	38,600	国調査終了		39,400



取組状況

- ・R3年度に引き続き、阿蘇中岳火口の退避壕(県事業)や二次避難休憩施設(阿蘇市事業)等について、R5年度中の完了を目指し、整備を推進した。
- ・R3年度に引き続き、阿蘇地域の観光復興キャンペーン「I'm fine ASO!」を実施し、その一環として、阿蘇エリアを中心に観光地をめぐりながら、スマホでスタンプを集めることにより周遊促進を図る「クレヨンしんちゃんデジタルスタンプラリー」を実施したほか、瀬の本高原リゾート等でR4年7月から8月にかけて音楽・グルメ・キャンプのイベント「ASOFESTi-vacation」を実施し、延べ約38,000人が来場した。

課題等

- ・道路整備等により、移動時間の短縮、周遊性が向上したため、熊本地震前より広域的な移動を誘い、阿蘇地域全体の活性化につなげていく必要がある。
- ・新阿蘇大橋の開通により阿蘇地域へのすべてのアクセスルートが完成し、アクセス性の向上により交通量も増加している状況にあるが、コロナ禍での外出自粛等による交通量への影響が考えられる。
- ・阿蘇くじゅう国立公園への国内外からの来訪者が、新型コロナウイルス感染症や火山活動の活発化などの影響により減少している。
- ・観光地までのアクセスについて、自動車以外の交通手段が十分に提供できていない。また、観光地における観光客の受入環境整備が不十分であり改善する必要がある。

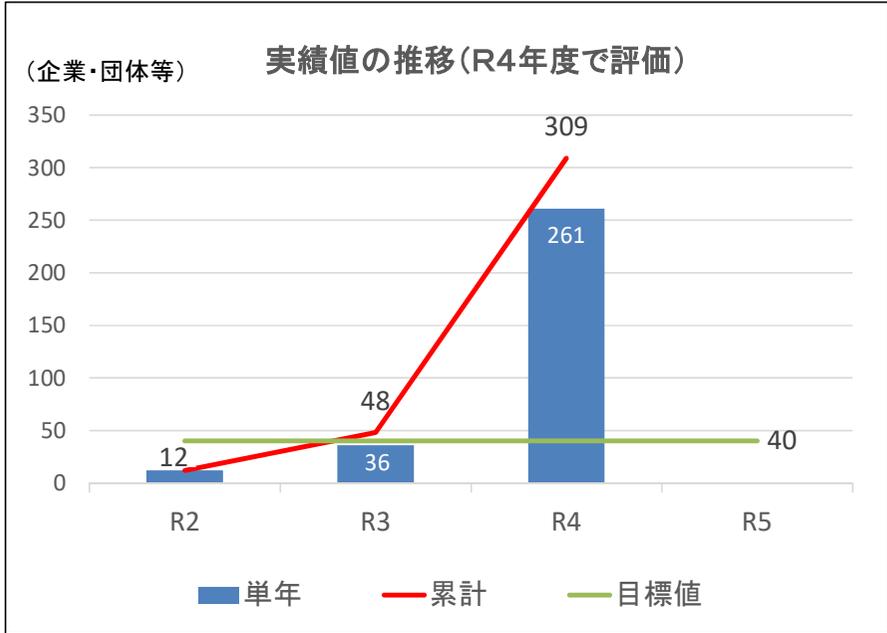
今後の方向性

- ・交通量の回復状況等を引き続き注視していく。
- ・熊本地震からの創造的復興の総仕上げとして、東海大学旧阿蘇キャンパス用地の利活用に係る支援を引き続き行っていく。
- ・阿蘇中岳火口周辺の新たな見学エリアの整備など、関係機関と連携して阿蘇くじゅう国立公園への誘客回復に向けて取り組んでいく。
- ・既存公共交通機関の利便性向上や、ラストワンマイル(最寄り鉄道駅・バス停等から目的地までの区間)における交通アクセスの整備等、観光MaaS(Mobility as a Service)の構築に取り組む。
- ・各観光資源におけるハード・ソフト整備を支援し、満足度及び消費額の高い観光地への磨き上げにより高付加価値化された観光地を面的に形成することで、阿蘇地域への誘客を促進する。

No	産業支援課
32	

空港周辺における新産業振興策(UXプロジェクト)の取組みに係る企業・団体等の参画数

	戦略策定時実績値(R1)	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	目標値(R5)
単年	— 企業・団体等/年	12	36	261		—
累計	— 企業・団体等/4年	12	48	309		40



取組状況

- ・社会課題解決に繋がる実証実験テーマを募集し、路線バス事業者5社によるノーマイカーデーの実証実験など、4件を支援した。
- ・県、熊本国際空港(株)、東海大学による連携協定を締結した。
- ・UXプロジェクト推進のため、人的・技術的な交流拠点として、テクノリサーチパーク内に設置された「Pre-UXイノベーションハブ」では開設後800人以上が施設を利用し、350を超える企業・個人が会員登録するなど、プレイヤーの交流を促進した。

課題等

- ・更なるプロジェクトの周知や実証実験等によるマッチング機会提供のほか、ビジネス創出に繋がる支援体制・環境整備が必要である。

今後の方向性

- ・更なる周知やビジネスのマッチング機会提供に向けて、ビジネス創出に主眼を置いた実証実験や、恒常的な賑わいの創出を支援する体制の構築、イノベーションハブ整備のための検討・調査等を実施する。